



再生バッテリープロジェクト
 パートナー企業：環境ライフテクノロジー株式会社
 2012年度 JICA BOP ビジネス F/S
 プロポーザル 採択業務

バッテリー再生技術により、使用済みバッテリーを再生して、非電化地域へ電気を届ける容器として活用するビジネスの調査。再生バッテリー用の照明、携帯電話用充電器も現地で開発、製造し、再生バッテリーと組み合わせ、廉価なエネルギーユニットとして普及を目指す。



Zero-Unit プロジェクト
 パートナー企業：株式会社 LIXIL

下水道やインフラの整っていない地域に人が居住するための自立型設備ユニット。「コンポスト」、「浄水」、「蓄電」の機能をひとつのユニットにまとめ、住居と切り離し単独で製造、設置できるようにした。従来のネットワーク型インフラ設備に代わる分散自立型公共インフラへの提案。



循環型無水トイレシステム
 パートナー企業：株式会社 LIXIL

2013年度 JICA 民間技術普及促進事業
 プロポーザル 採択業務

ケニアの非都市部を対象にした無水循環型トイレシステム（水を使わずに排泄物を処理し、肥料化する一連のシステム）。ユーザは生成された肥料販売や、肥料を用いて育てた農作物の販売により現金収入を得られ、従来型の下水処理施設建設が不要となることで、莫大な建設・維持コストを削減できる。また、一連のシステム運用には現地の雇用創出効果も期待できる。



超節水型トイレシステム
 パートナー企業：株式会社 LIXIL

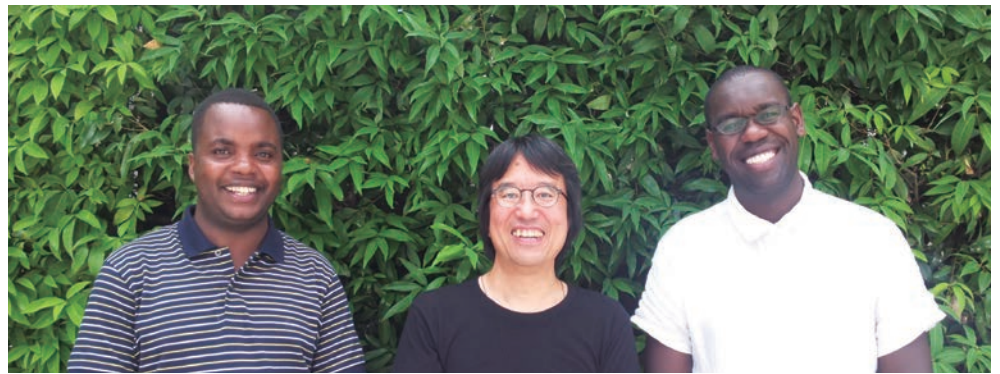
2014年度 JICA 民間技術普及促進事業
 プロポーザル 採択業務

ケニアの非都市部を対象にした「循環型無水トイレシステム」に対して、都市部に向けては、1リットル未満の水で機能する「超節水型トイレシステム」を提案。急激な人口増加により水不足に悩む都市部の水資源の有効活用、汚水処理コストの低減、公衆衛生、水環境の改善を目指す。

OSA SOCIAL DESIGN GROUP

日本のタネを ケニアでカタチに

ソーシャルデザイングループ、OSAは、日本とケニアに拠点をもち、日本企業の優れた技術、プロダクトのタネをケニアでカタチにする仕事を進めています。ケニアの民間企業のみならず、行政機関、学術・研究機関、NGO、国際機関などを通じて、ケニア社会に広く、深いネットワークを構築することにより、日本企業にとって真に競争力と持続性のある事業展開を実現します。



OSAケニア 取締役
Emmanuel Mutisya
 エマニュエル・ムティシヤ

一般社団法人OSAジャパン 会長
坂田 泉

OSAケニア 取締役
Dick Olango
 ディック・オランゴ

国際基督教大学修士課程修了後、東京大学にて博士号取得。持続可能な開発、気候変動、公衆衛生、再生可能エネルギーの専門家として、国連人間居住計画（UNHABITAT）、国連環境計画（UNEP）、国連開発計画（UNDP）、国連教育科学文化機関（UNESCO）などの国連機関を初め、多くの国際機関とのネットワークをもつ。現在、国連大学研究員、東京大学助教、OSAジャパン顧問を兼任

京都大学工学院研究科修士課程修了。前川國男建築設計事務所在職中の1994年から1年間、JICA（国際協力機構）専門家としてケニアのジョモ・ケニヤッタ農工大学にて建築教育に従事。2011年、一般社団法人OSAジャパンを設立、会長に就任。現在、公益社団法人日本建築家協会国際交流委員、慶応義塾大学ビジネススクール招聘講師、法政大学大学院デザイン工学研究科非常勤講師、OSAケニア顧問を兼任

東京都立大学工学部建築学科卒業。坂茂建築設計事務所などでの実務経験を経て、AOAD（ATELIER OLANGO ARCHITECTURE・DESIGN）建築設計事務所を設立、AAP（AFRICAN ARCHITECTURE PROJECT）を共同設立。スウェーデンにおける建築ビエンナーレや国連人間居住計画（UNHABITAT）のプロポーザルに入賞、作品が展示される。現在、公益社団法人日本建築家協会会員、AOAD代表建築家、OSAジャパン顧問を兼任

OSAジャパン 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-5-1
 OSA Kenya City Square, P.O.Box 9148-00100, Nairobi, KENYA
 Email: info@osa-rainbow.com

<http://www.osa-socialdesign.com>

OSA SOCIAL DESIGN GROUP

日本のタネを ケニアでカタチに

ソーシャルデザイングループ、OSA は、日本とケニアに拠点を持ち、日本企業の優れた技術、プロダクトのタネをケニアでカタチにする仕事を進めています。ケニアの民間企業のみならず、行政機関、学術・研究機関、NGO、国際機関などを通じて、ケニア社会に広く、深いネットワークを構築することにより、日本企業にとって真に競争力と持続性のある事業展開を実現します。

ソーラーシェアリング・プロジェクト

パートナー企業：株式会社 Looop

2015年5月 ジョモ・ケニヤッタ農工大学と MOU 締結

「ソーラーシェアリング」とは、ソーラーパネルを農地の上空に設置し、発電と農業を両立させるシステム。電気は、農地の灌漑設備や農業用機器、「再生バッテリー（使用済みバッテリーを再生したもの）」による周辺の非電化地域への給電に利用する。ジョモ・ケニヤッタ農工大学との共同実証実験では、パネルが直射日光を緩和することによる農作物、農地への効果を検証している。



月桃プロジェクト

パートナー企業：有限会社エンジェルワールド

2015年7月 現地農業企業 Meru Herbs と LOI 締結

沖縄の伝統的有用植物「月桃」によるケニアにおける生活習慣病予防と健康向上に向けた商品開発のプロジェクト。有機農業とフェアトレードを通じた農村女性のエンパワーメントを目指す現地企業、Meru Herbs 社との共同プロジェクト。2015年7月以来、同社の農園にて月桃の試験栽培を開始し、2016年3月、月桃による飲料の試作に成功。



ソーラーシート・プロジェクト

パートナー企業：株式会社 Kens.co

2016年3月 ケニアにてモニタリング開始

「薄い・軽い・柔らかい」という特性を持つフレキシブルな「薄膜系アモルファス太陽電池」（以下、ソーラーシート）を用いたプロダクトを普及実証するプロジェクト。2016年3月、ソーラーシートによる「ソーラー街灯」のモニタリングをケニアのキツイ州、マクエニ州にて実施中。



RECENT PROJECTS

2016年3月現在

OSAジャパン 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-5-1
OSA Kenya City Square, P.O.Box 9148-00100, Nairobi, KENYA
Email: info@osa-rainbow.com

<http://www.osa-socialdesign.com>